

そこがききたい

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では3月7日から3日間、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲4月に開校した芦原小学校の元気な児童たち



一問一答方式とは、議員席前の質問席から、執行部に対面して行います。質問の制限時間は40分(答弁は含まない)で、初回のみ総ざらい質問・答弁とし、2回目からは一問一答で、制限時間内に何回でも質問ができます。

そこがききたい

福祉部長 ①市としては、法人決定時の確認事項や社会福祉法人設立時に締結した基本協定等の契約があり、この内容に添い、必要に応

議員 第2特別養護老人ホーム「いきいきタウンとだ」(喜沢南2)について伺います。①この特養は、市の土地3000㎡を無償貸与した上に、国・県・市の補助金で建設されたものであり、入所者の選定、入所料の決定と今後の運営などに、市はどうか関わってきたのですか。②入所者の選定は、特に公正・公平に行われなければならないと思いますが、市は入所審査会に入っていますか。また、公正に審査が行われたのかをチェックしましたか。③入所料が約10万円、一般の特養と比べ高いとの批判がありますが。



▲本市で2番目に開所した特養「いきいきタウンとだ」

民生生活部長 平成17年度の早い時期に、駐車車しづらいような対策を行います。

議員 違法駐車が続いているマンション「グレースコート戸田公園」前の道路の対策はどうですか。

あげていると考えられています。

望月 久晴 議員

第2特別養護老人ホームに適切な指導を

議員 本市はトラック等の違法駐車が大変多く、市民の安全を脅かしていますが、市の対応はどのようになっていますか。

民生生活部長 平成11年に「違法駐車等防止条例」を施行し、違法駐車防止指導員が巡回による指導・啓発に当たり、一定の効果をあげています。

万円かかり、その額については、国の基準の範囲内となっています。

子育てが安心な戸田市を

日本共産党 望月 久晴 議員

救急医療の充実のために 様々な方策を検討していきます。窓口払いの廃止については、今後は子育て支援対策の一環として、できるだけ早い時期に方向性を示したいと考えています。

学校教育の充実を

議員 本市で平成15年度に実施した「これからの教育を考えるアンケート調査」の調査結果は、教育の現状を的確に表し、今後のあり方を示していると思います。が、どう受け止め、生かしてきましたか。

議員 子育て世代にとって、一番大きな心配は子どもの医療の問題です。小児の24時間救急医療体制の充実と、乳幼児医療費の窓口払いの廃止は緊急の課題です。子育て世代は早期実現を強く求めていますので、考えを聞かせてください。

市長 全国的に小児科医が不足している中で、市独自に小児の救急医療を24時間体制で実施することは、かなり難しい問題があると考えていますが、今後も小児



▲ピカピカの1年生たちの入学式

市長 アンケート調査結果を報告書としてまとめたところですが、現在策定しています教育振興計画は、この調査結果を踏まえながら課題などを整理し、今後の方向性と取り組みを計画の中で示したいと考えています。次に、児童・生徒一人ひとりに合った指導については、ご指摘のとおり、個に応じた指導を推進することに他なりません。現在の学習指導要領には、個に応じた指導として、個別指導、少人数指導、グループ指導、繰り返し指導、協力的指導など多くの方法が示されています。市内の各学校では、これらの方法を柔軟かつ多様に組み合わせながら、日々指導を行っています。

総括質問

競艇事業の存在をどう考えるか

民主クラブ 高橋 秀樹 議員



議員 戸田競艇事業の配分金が減収していますが、競艇からの配当金のための、

▲市の財政に貢献している競艇事業

ナイター場外発売や、市政運営と、競艇事業の存在をどう考えているか伺います。

市長 競艇事業の配分金は非常に貴重な財源でもありますが、売上増進に努力していきたいと考えています。市としても戸田競艇組合と連携して課題の解消に努め、ナイター場外発売の早期実現を目指してまいります。

新曽土地画整理事業に市債の発行の考えは

議員 新曽土地画整理事業を促進することで、地域経済の活性化につながると思っています。平成17年度予算で市債発行が大幅に減額されています。むしろ、市債の発行で資本を投下し、事業促進によって地域経済の活性化を図ってはと思いますが、発行する考えは。

市長 新曽土地画整理事業の推進に伴う事業費の確

保は、一般財源が大変厳しい状況下にあるものの、あらゆる特定財源の確保に努めながら早期の事業完成を目指します。なお、事業財源としての市債対応につきましては、全体的な財政計画の中で十分検討していきたいと考えています。

税の収納率の向上策は

議員 税の、悪質な滞納者の徴収については、民間機関とのタイアップや、ノウハウを借りることも検討が必要ではないかと思えます。また、組織改革によって、新しい組織がどのような体制になるのか伺います。

市長 市税の徴収につきましては、民間の徴収方法で参考になるものがあれば検討していくことも必要であると考えています。なお、このたびの収税推進室の設置により、収納課と国民健康保険税徴収部門の一体化を図り、体制を強化することにより、納税意識の向上と徴収対策を推進して、収納率の向上を目指し努力いたします。